

# 健康医療ネットワークを拡充

## —— 海外邦人医療基金からの事業継承

日外協は 2021 年 3 月末に解散した海外邦人医療基金 (JOMF) の事業を継承、健康医療分野での相乗効果を目指す。

いつの時代も海外に派遣されている駐在員とその家族にとって、健康医療は最大の関心事の 1 つ。

JOMF はこれまで、海外派遣されている企業関係者とその家族のための日本人医師派遣、海外巡回健康相談、海外医療情報普及・相談などを行ってきた。これらの事業を部分的に継承し、今後は以下のような取り組みを通して健康医療に関する啓発活動の拡充を図っていく。

**健康医療関連啓発活動** 当協会で行う海外駐在員や海外渡航者に対する危機管理・安全をテーマとした活動の裾野を広げ、健康医療関連啓発活動の拡充を目指す。具体的には協会職員／アドバイザー (医師含む) の特定国派遣による海外安全・危機管理の啓発活動に、感染症をはじめとする健康医療関連のテーマを加える。

**海外健康相談の実施** JOMF の関係者 (医師) を引き継ぎ、海外駐在員とその家族の健康維持支援を、オンラインも活用しつつ実施できるように模索する。

**海外医療情報交換のプラットフォームの構築** 当協会で開催している研究会で、海外駐在員とその家族の医療不安問題も取り上げるとともに、新たな海外医療関係者の研究会の創設も視野に入れる。また、当協会の会員企業 (健康医療関係を扱う人事部門関係者) とのネットワークと、JOMF の医療関係者とのネットワークを結合させ、新たな情報交換イベントの

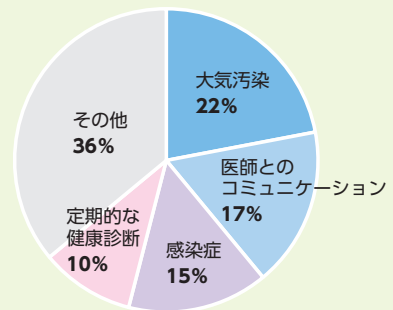
開催を検討する。

**健康医療関連の情報発信の統合** 当協会の情報発信事業 (月刊誌、医療関係小冊子、メールマガジンなど) に JOMF の情報発信事業の一部を取り込む。

海外に派遣されている駐在員とその家族は、日本と異なる環境の中で、健康医療面でも様々な不安を抱えている (グラフ)。新型コロナウイルス感染症の拡大で国境を越える移動が困難な今は、なおさらのことだろう。海外で安心して仕事ができるよう、JOMF のネットワークを活用することで相乗効果を上げていきたい。

日外協 海外邦人医療関連事業推進室長 <sup>あほきよふみ</sup> 安保清史

海外の健康医療で不安を感じること



出所：2019 年度 JOMF 海外巡回健康相談実施時のアンケート調査

対象国：フランス、ドイツ、インド、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム  
有効回答数：1,212

\* 「その他」内訳：身近に相談できる医師がない (8%)、医療費が高額 (8%)、医療システム・制度がわからない (7%)、予防接種 (6%)、生活習慣病 (3%)